

韓国環境部プレスリリース 2020 年 1 月 13 日付

江原道華川郡野生いのしし弊死体から ASF ウイルス検出 (野生いのしし 70-72 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1174460&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は江原道(カンウォンド)華川郡(ファチョングン)で発見された野生いのしし死体 3 個体で ASF ウイルスが検出されたと 1 月 13 日明らかにした。

死体は 1 月 11 日華川邑(ファチョンウプ)豊山里(プンサンリ)民間制限線内の戦術道路、山および林野で環境部捜索チームによって発見された。今回陽性となった 3 個体はすべて、1 月 8 日と 10 日の陽性個体発見地点に隣接する地域で発見された。

華川郡(ファチョングン)は ASF 標準行動指針により試料採取後、現場消毒と共に死体を埋却した。

国立環境科学院は 1 月 13 日死体から ASF ウイルスが検出されたことを関係機関に通知した。これで華川郡(ファチョングン)で合計 5 件の野生いのしし ASF 陽性となり、全国的には 72 件になった。

国立環境科学院生物安全研究チーム長は"今回の死体は全部民間制限線内広域フェンスの中で発見され、軍と協力して周辺捜索を強化し、早急にフェンスを設置する予定だ"と話した。

以上